

# 10月の生活表

2023年10月

聖マリア幼稚園

年主題：つながって ～今、わたしを生きる～

月主題：つながって

保育日数（22日）

月目標：<3歳児>

\*神様が繋がってくださっていることを覚え、安心して過ごす。

\*好きな遊びをじっくり繰り返す中で、試したり、自分なりに工夫してみようとする。

\*体を動かすことを楽しみ、少しずつちょっと難しいことや初めてのことをやってみようとする。

<4・5歳児>

\*神様がくださった身体を存分に使うことを心地よく感じる。

\*明日への期待や目的を持って遊ぶ姿がふえ、試行錯誤し乍ら工夫したり互いにアイディアを出し合うようになる。

\*一緒に過ごす中で友だちの良いところ、楽しいところに気づく。

年主題とともに、今月は「つながって」とあります。私たちが神様から命を授かり、今を生きているその足元を見つめてみると、地面でしょうか、空でしょうか、自分の手の指の先でしょうか、足の指の先でしょうか…。必ずや誰かとどこかで「繋がって」いると思っています。自分自身では感じ取れていない中でも、今立っている所から遠く離れていても、海を隔てて他所の国を見つめてみても、本当に不思議な繋がりに驚かされることがあります。皆さんもおありなのではないでしょうか。そんな時「へえ!! 知ってる知ってるその人」とか、「そう、あの人の、〇〇の〇〇で、私の〇〇とお友達で・・・」なんて、ある時出会った人との会話から色々驚かされることも多々おありでしょう。この幼稚園に在っても保護者の方同士の郷里が同じであったり、隣町だったり、同業種として遠隔地にあってもどこかの仕事場で出会えば、あたかもずっと出会っていたかのような思いに駆られることもありますね。その様に様々なことを考えていると、自分の存在そのものが不思議なものであると思われて仕方ありません。そして、私には何人の人との出会いや別れがあるのか、どれだけの人に助けられているんだろうか、誰に迷惑をかけてきたんだろうか、私は誰と誰を繋いでいるのかしら等々、その日その時の思いの中で自分の気持ちが揺らぐ時があります。皆さんもそうでしょうね。いつも笑っているわけではありません。怒ってはなりません。悲しくても目を瞑って涙を堪える時もあるでしょう。こんなことを考える中で、幼い時を思い出すとその場その時の気持ちの綾が思い出されます。人との関わり、動植物との関わり、大切な物との関わり。いろんな感情やいろんな想いを抱くことは、それだけいろんな出会いがあったからこそだと思うのです。今を生きる大切な子どもたちにも喜怒哀楽がいっぱい感じられるそんな経験をたくさんたくさんしてほしいと願うのです。数え切れないくらい、聖書のお話の中によくでてくる星の数ほどに・・・豊かな人生を過ごしてもらいたい為に、私たちは、子どもたちの根っこにたっぷりの栄養が施せるようになりたいと考えています。そこには、いつも神様のお導きお守りがあることを信じ、子どもたち一人一人と繋がりたいと思うのです。

## 《チャレンジャー》

年主題：つながって ～今、わたしを生きる。～

年聖句：10月月間主題：つながって

月聖句：月聖句：羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。（ヨハネ10：16）

私たちの幼稚園には、「羊」の絵が、いっぱいあります。看板にも、通りに面した柵にも、高い塔の上にも、可愛らしい小羊の絵が描かれています。羊は、神様と私たちのつながりを表すシンボルです。神様が羊飼い、私たちが羊です。小さく、か弱い、そしてすぐに道を迷ってしまう羊たちは、強く優しい羊飼いのもとに集まります。

羊は、聖書の中で多く用いられているシンボルです。ユダヤの人々は、元々、遊牧民として生活していました。絶えず移動する生活では、農地を耕して糧を得ることはできません。人々はたくさんの羊を飼い、その肉を食べ、豊かな羊毛で布を織り、衣服やテントをつくり、またそれらを用いて定住している人々と交易を行い、穀物やその他の生活必需品を得ていました。羊はユダヤの人々にとって、財産であり、糧であり、正に、自分の命に次に大切なものでした。人々は羊を大事にしてきました。自分の飼う何百匹もの羊に全て名前を付け、その性格や特徴を把握していました。少しでもおいしい草を食べさせるために厳しい旅もしました。狼や盗人が襲ってきたときには、命がけで羊たちを守りました。そのような、人々と羊たちとの深いつながりが、神様と人間とのつながりをあらわすのに、ふさわしい象徴となったのです。

「羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れとなる。」 「一つの群れ」を原語で読むと、単に「一つ」という言葉でした。善い羊飼いに導かれた羊たちは、どれだけたくさん居ても、「一つ」になるのです。

私たちは、祈りと愛の奉仕によって、イエス様のような人になりたいと思います。それは一人一人の目標だけでなく、全体の目標でもあります。私たちの幼稚園が、愛のつながりによって、みんなで一つの優しい存在になりたいです。

## おたんじょうび おめでとうございます

### <生活指導>

☆秋の自然を見つけてみましょう。

- ・ 木の葉・木の実・草花・虫・果物・空・雲・風etc.身の回りの自然に目を向け、季節の変化に気づき、自然の不思議について考え、自ら関わる事で親しみをもちましょう。（親子で自然物を使って、何か良いものを作ってみませんか）

☆運動会を機会に身体全体の様々な運動に対し、取り組む意欲を養い、子どもの発達を注視し、成長を促してみましょう。

- ・ 運動会はひとつの機会にすぎません。日々の機会がどこにあるのか、また機会をどのように捉えてみるのか、基本的な体の動きを確認しながら、親子で楽しんでみましょう。

- ・ 気候の良い時に、保護者の協力のもと、戸外で身体を動かして遊びましょう。

例えば、ボールころがし・キャッチボール・ボールつき・バトミントン・大縄跳び・縄跳び・ケンパ・鉄棒・フットサルetc. ゆったりとした時間を作り、お父さんお母さんの幼児期を思い出し、近くの公園で一緒に遊んでみませんか。

- ・ 身体を動かす基本動作（跳ぶ・走る・渡る（側溝の上等も）跨ぐ・潜る・でんぐり返り（前転と後転）・転がる（横転）・背伸びする・線の上をつま先歩きする・両足跳び・けんけん・ギャロップ・スキップetc. 家の内外で沢山その機会を捉えてみましょう。

- ・ 手先の動作（巧緻性＝器用さ）もとても大切です。

クレヨンでしっかり色が塗れる（はみ出さずに、白い所が無くなるまで、しっかり色を塗る事ができるetc.クレヨンを塗る力加減で鉛筆や消しゴムが上手に使えるようになります。）

はさみを使う（どれだけ線に沿って切れますか。どちらから切り始めていますか。反対の手はどのように添えていますかetc.）

じゃんけん（指1本ずつがしっかり動かせますか？）が出来ますか？

(勝ち負けの意味がわかりますか。)

お箸が使えますか(お箸・スプーン・フォークの使い分けが出来ますか?) お箸もスプーンも正しい持ち方で=花組でも十分に使いこなしている園児もいます。勿論個人差はありますが、例えば、エジソン箸よりも、ことばを添えて根気よく方法を教えて下さる方がよいでしょう。

☆ 何事にも、「やってみなさい」とみせるのではなく「こうしてごらん」と同じ方向から手を持ったたり、添えながら教えてあげて下さい。

☆ 2学期は各学年で子どもが個人差を持ちながらも、各々に大きく自立しようとする大切な時です。

- ・ 保護者は、自律=自立の意味(自らやってみようとする意欲が大切)をしっかりと把握しましょう。
- ・ 愛情を注ぐことと言いなりになることとは意味が違います。(親の手を出さない我慢が大切です)
- ・ 子どもが自立するという事の意味はいっぱいあります。「しっかりしてほしい」といいつつ……。口と一緒に手を動かし、助けてしまっていないですか。
- ・ 大人もしっかり返事や受け答えをしてみましょう。大人の意見を押し付けたり、何も気にせず通りすぎない様に。
- ・ 子どものお話にゆっくり耳を傾け、同じ方向を向いて話を深めてみましょう。
- ・ 「ハイ」の返事が出ません。呼ばれたら返事をし自分の存在を伝えられるように。
- ・ ご挨拶がスムーズに口から出てきません。良い癖になるように。
- ・ 相づちが打てません。自分の意志が十分に表現できますように。
- ・ 大人が大切な話をしている時には、子どもが我慢する事も必要です。
- ・ お話ししている時は相手の顔を見るようにしましょう。
- ・ 様々な場面展開に対応出来るように、大人は言葉掛けに工夫してみましょう。

☆ 社会(国際・日本・都道府県=郷里・地域など)の事象に触れてみましょう。

- ・ 社会事象から、世界○○○など様々な報道がされています。地球儀や地図等を真ん中に、顔を寄せ合って自分の存在地点(国、他国)を確認してみましょう。
- ・ 大人は子ども達と話題を共有することにより、子どもに合わせて解りやすく説明してあげることが必要です。絵本・新聞・テレビ等を通して、ちょっと時間を作ってみませんか。
- ・ 身近な地域の人たちとの接触も大切です。町内の行事等にも参加し交わってみましょう。

☆ 体調を気遣いましょう。

- ・ まだまだ暑い日々です。気温の差に対応し、こまめに衣服の調整しましょう。(ことばをかけながら、本人にも気づかせましょう。)
- ・ 上着は保護者が持ち帰らず子どもにお預け下さい。(自分のものとして処理できる様に)

## <クラス担任より>

### [花組]

「やきいもやきいもおなかグ〜」とっても楽しかった『お芋掘り遠足』は全員出席で、お天気にも恵まれて出掛けることが出来ましたね！暑い中、ありがとうございました。日常では体験出来ないこと、ご自分で掘った【さつまいも】のお味はひと味もふた味も違って格別に美味しく感じられたのではないのでしょうか。頭の上を飛び回るトンボや畑をあっちこっちと飛び跳ねるコオロギ、栗のイガにも興味津々・・・秋が沢山見つかりました。

幼稚園では『運動会』を目前に練習にも真剣に取り組み、最初は、赤組・緑組さんたちの運動会の競技を見て、圧倒されるやら感心するやらの花組でしたが、花組なりに精一杯頑張っています。そんな中、時に「今は、やりたくない」「〇〇がやりたかった」と強く自分の思いを表出しているお友だちもあります。例えば、僕が私が「今は、やりたくない」であっても他のお友だちは取り組んでいるのです。他のお友だちは「今は、やりたくない」と立ち止まるお友だちをあの手この手で誘う先生の姿をじっと見ながら待っていて、「やっぱりやる」と気持ちが変わっても、誰一人待たされたことに文句を言うわけでもなく、むしろ拍手をして「良かったね！出来た！」とみんなで喜びます。そうして喜んだお友だちだって、時には立ち止まり先生やお友だちに見守られて前へ進む経験をしているのです。だからこそ、「今」自分の思いと向き合っているお友だちのその凸凹した心に寄り添えるのだと子どもたちの姿から感じられます。運動会の本番でも同じ様に「今は、やりたくない」と凝り固まってしまうこともあるかもしれません。そんな時は、練習でした時と同じ様に、その時の凸凹した心に寄り添いたいと思いますのでどうぞ暖かく見守ってあげてください。

10月より、新たに2名のお友だちをお迎えします。また花組さんが賑やかになって嬉しいです。過ごしやすい季節の秋、個々の育ちを心に留めながら、クラス（集団）そして、お隣のプレプレちゃんとの縦の繋がりもしっかりと持ち、目一杯に心も身体も動かして楽しんでいきたいです。何かお気づきのことや、ご要望などもどうぞ遠慮なくお知らせいただき、ご家庭との連携もより一層大切にしてゆきたいと考えています。重ねてお願い申し上げます。

### [赤組]

暑い日が続いていますが太陽の日差しが秋らしく、またそこに吹く風の心地良さを感じられたりと季節は夏から秋へと少しずつ移り変わっています。秋をそれぞれ感じながら季節の変化を捉え、楽しむことができますように。子どもたちと「〇〇の秋」を沢山見つけていきたいと思います。

先日はお天気に恵まれ「お芋掘り」を無事終わることができました。行きのバスの中でもおしゃべりのお口がとまらずワイワイとしていた赤組のみんな。お芋を掘ってから

「疲れた」とこぼす子がいたものの昼食や楽しみにしていたおやつ交換、そして畑で自由遊び（かけっこや虫探しなど）を堪能し、帰りのバスでも赤組さんは楽しそうに元気いっぱい帰園しました。初めて自分だけの力で掘るお芋掘り遠足を心待ちにしていたみんなは、口を揃えて「お手伝いらない！」と言っているほどでした。途中で疲れる子もいたけれど最後まで掘り、お芋を掘り上げた瞬間の表情は満足気で心から喜んで笑顔でとても可愛らしかったです。土の硬さや匂い、土の中のミミズなどの虫が沢山住んでいることなど実感した子どもたちにとってまた一つ大きな経験になりました。

そんな頑張ったお芋掘り遠足。自分一人で何かを成し遂げる、達成感を味わうことでその嬉しさを体感し、次からの活動がより積極的になることを期待しています。もうすぐに迫った「運動会」でも「やったぞ！」という気持ちをもって取り組んで欲しいという願いも一つ込めています。今年の赤組さんはクラスだよりでもお知らせした通りキーワードは「宝探し」です。子どもたちの中で「お宝」がどんなイメージなのかと問うてみると「ダイヤ」「キラキラのネックレス」「沢山の現金！」など沢山出てきました。そのお宝を見つけるまで簡単な道では辿り着けないけれど、どんな道があるかと子どもたちと一緒に考えてみました。競技の中に子どもたちが考えてくれた道も入っています。そして「地図もいるんじゃない？」と話している中で出てきたので、地図を読んで描かれた道に進めるように競技を工夫しました。途中で立ち止まって自分で地図と先の道を照らし合わせて考える要素を含み、自分で選んだ道を進み、お宝を見つけられたぞという気持ちでゴールできるようにしました。可愛らしいトレジャーハンターたちをぜひ楽しみにして下さい。

今月の月主題は「つながって」です。子どもたちの中で何と何が、どこからどこまでつながっているのでしょうか。好奇心旺盛で何でも興味を示している子どもたち。けれど感情が先に出て、人の話を最後まで聞くと意識がまだ定着していないのです。ずっと集中しているのはしんどいけれどキュッと「今は聞く時間だ」と意識をもつことはできるはずですが、また、その時の話を理解することは出来ているから、それが何につながった話なのか考える力をつけていきたいと思っています。その時に姿勢が曲がっていたら意識は飛び散り、結果、一度で聞けずその場しのぎで過ごすことになってしまいます。そうならないように姿勢を正し（足や背中など）聞く姿勢を取ることも大切です。そのために私自身も子どもたちとつながって物事を考え、先を見越しながら子どもたちが一つひとつをつなげて考えられるように様々な方法でアプローチ出来るように工夫して接していこうと考えています。

まずは目前の「運動会」です。子どもたちは楽しみながら練習に励んでいます。子どもたちの頑張る可愛らしい姿をお楽しみに。沢山の皆様のご参加をお待ちしています。

## [ 緑組 ]

先日、我が家の水道管が水漏れしました。どこからともなく「シャーシャー」と絶え間無く水が流れる事態となり、水道屋さんが取り敢えずの工事をしてくださったので、台所とお風呂の給水は問題なくなったのですが…。トイレだけは…追っての工事となってしまいました。致し方なく…バケツに水を汲んで…の生活を送っているのですが、改めて、こうしたライフラインの大切さとありがたさに気付かされるのと同時に、あらゆる習慣も、所が変われば方法も内容も違うことを知るきっかけにもなりました。例えばトイレ習慣一つとっても、アジア諸国は自分で水を汲んで流すが当たり前のところが多かったり、欧米諸国のトイレは個室のドアの下の際間が広く空いている…など ちょこっと見聞きするだけでも、その違いに驚かされることは多々あります。そしてその違いに「ああ、日本で良かった」と思ったり「いいなあ、フランスは」などと憧れを抱いたりするのでしょうか。こうした生活環境の中で抱く「なんですか」「どうしてかな?」を通して「学び」があるのが幼稚園というわけです。逆に言えば子どもたちに気づいて欲しい、学んで欲しいと思うことがあれば、大人は意図的にその環境を用意してあげることも必要だともいえます。ただしそれは無理強いするものではありません。むしろ、目の前のお子さんが得意とするものの先に、新たな「好き」を見つけられる「環境」を設定するということだと思えます。そのためには、子どもの「好きと得意」「嫌いと苦手」を知る必要があります。今、緑組は幼稚園卒園まで半年の時期にさしかかりました。5人で過ごす環境は、これから先必然的に大きく変化していきます。そのことを思うと「小学校」という場に、どんな人と、どんなものごとが待っているのか、そして、その場へ向かうために準備しておくことは何か?と想像します。そこで…2点。「社会事象に触れてみる」と「お箸や鉛筆の正しい持ち方、使い方」を子どもたちにも意識して欲しいと考えています。今夏、スポーツの祭典がここここで開催され、多くニュースにも取りざたされました。運動会を前にこうした絶好の話題を子どもたちと共有したいと思いましたが、スポーツはともかく「世界の国」への関心も薄く、すこし残念に思いました。国旗を覚える、国をたくさん知っていることが大事だとは考えていません。仮にそのスポーツを知らなければ、その内容を共有し、一緒に身体を動かしてみることもできるでしょう。陸上競技で金メダルをとった選手がどこの国の方なのか?と世界地図を広げることもできます。子どもの「なんで/どうして」を引き出すのも、子どもが「学ぶ」ためには必要です。TVや新聞はご家庭によってないところもあるかと思いますが、大人はニュースを知ることができます。悲しい、つらいニュースもありますが「今社会のどこかで起こっているのか」に目を向けることを大事にしてみませんか? 更に、文字の読み書きも10月以降取り組んでいきます。これは「書くことが楽しい」「書けた!」のプラス経験を積むためです。「書けないと小学生になれない」という脅しではありませんよ。でも、プラスの経験を得るためには、道具を上手に使えることです。子どもたちの手先を見ていると、今のうちに箸、スプーン、鉛筆の持ち方をなおしておく必要があるお子さんがいらっしゃいます。これも、やはり関りが必要ですね。「環境を通して学

ぶ」幼児期ではありますが、その環境を設定するのは大人です。その中で何を学ぶか？どう学ぶか？緑組の子どもたちは、まじめで何事にも真剣に取り組めます。でも、自分の見えるもの、知っていることに左右され戸惑ってはいませんか？これから先に広がる世界は、多種多様な価値観をもった人との出会いに満ち溢れています。多くを知ること、それは、この子たちの世界を広げ、自信へと導いてくれるに違いありません。丁度1年前、前緑組の縄跳びをみて、練習し始めた子は、今悠々と様々に縄を操り飛び跳ねています。自分たちが見聞きした環境の中で「憧れ」をもち、自分でやってみようとする。「運動会」は、子どもたちの1年にも及ぶ、努力の集大成でもあるのです。そして、笑って泣いて？楽しい時間になることを願います...目下最後の運動会に向けて準備しています。どうぞ、ご一緒に笑い涙して頂ければ...幸いです。5人で向かえる運動会！大きな拍手と声援をよろしくお願いいたします。